

年頭の挨拶

参議院議員

佐藤 正久



新年明けましておめでとうございませう。旧年中は貴会の皆様が大変お世話になり、議員活動を行う上での大きな励みとなりました。本年も引き続き宜しくお願いします。

年頭にあたり、尖閣諸島を取り巻く状況とその対処方法について考えを述べます。尖閣諸島問題を考える上で重要なのは以下3点です。

- 南西諸島のインフラ整備
- 海保と自衛隊の連携強化
- 尖閣の実効支配

尖閣諸島が位置する南西諸島に空港や港湾などのインフラを整備するべきです。現在、尖閣諸島に即応できる空自戦闘機が展開している那覇は、中国本土よりも尖閣から遠い位置にあるため、継戦能力は不利になってしまいます。しかし、空自が宮古島付近の下地島空港を使用できるようにすれば、距離はより近くなり、我方優位となります。さらに、有事の際に、先島諸島で住民避難を行う場合、海自艦艇が入港可能な設備が必要ですが、現在そのような港湾は石垣港、平良港にはなく、

与那国島の空港も滑走路の厚さが十分ではなく、主要航空機が着陸できません。このような事態は、長期的視点を欠いた、国防を前提にしていない設備が建設されたことが原因であり、関係省庁連携の欠如もその根幹にあるといえるでしょう。今後は国防の任務に対応可能なインフラを整備していかなければなりません。

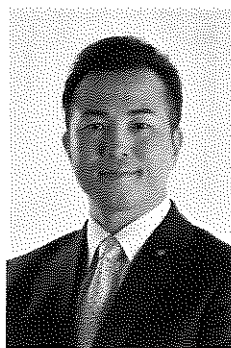
海保の人員・装備の増勢は重要ですが、同時に大切な点が自衛隊との連携強化であります。相手国の経空目標・水上目標をいち早く探知し、我方の対領空侵犯措置能力を増大させるためにも、海保・自衛隊間の一体的な情報共有態勢などを持つべきです。さらに、海保の連絡員が海自艦艇に乗り込み、海自隊員が巡視船に乗ればスムーズな連携が行えるでしょう。実際、中国海警は海軍と一体になりグレーゾーン作戦を展開しているのですから、それに対処するには自衛隊と海保も連携すべきであります。

行政は尖閣を保持する意志を明確にするためにも、「領土・主権展示館」の石垣島への出先機関を作り、尖閣に上陸した上で環境調査や遺骨収集・慰霊祭の支援を行うべきであります。しかし、そうした際に中国の反応も想定し、在中國日系企業を支える準備も整えなければなりません。2020年11月28日の航空観閲式で、「組織の縦割り」を排して連携強化するよう、菅首相は訓示しました。陸海空のみならず、自衛隊を越えた他組織との連携も重要になります。今年も引き続き国会議員、そして自民党外交部会長として、日本の領土と主権を守るべく、より一層邁進して参ります。

新年を迎えて

参議院議員

宇都 隆史



全国の借行会会員の先輩方、明けましておめでとうございます。航空自衛隊出身、「空翔ぶ参議院議員」こと宇都隆史（うとたかし）です。昨年は公私に渡りご指導ご鞭撻を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は中国武漢で発生した新型コロナウイルスの世界的な蔓延に伴い、本当に大変な一年でした。現在でも世界的な感染増加の傾向が収まらず、新薬等の開発による一日も早い収束を願ってやみません。

また、私事ではございますが、二期目の活動もいよいよ最終コーナを回り、来年7月の3期目となる参議院選挙に向けて、事務所一丸となって邁進しております。コロナ禍で、思うような活動ができておりませんが、外務副大臣として、「国民のために働く内閣」の一翼をしっかりと担って参る所存です。本年も倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

今後の国際社会では、中国の台頭と米国の衰退がより顕著に表れ、その狭間で我が国自身の行動が求められる時代になるでしょう。これまで以上に複雑で不透明、かつ不安定な国際情勢が予期され、今こそ改めて先の大戦を振り返ると共に、英霊の顕彰を通じて、悠久の歴史の中で国のために倒れた全ての先達らの崇高な意思を引き継ぎ、独立国家の原点に立ち還って、我が国独自の進路を切り拓く努力が政治に求められていると思います。憲法改正は「現行9条への自衛隊の明記」だけでよいのか？ 戦後日本の安全保障戦略の根幹をなしてきた「専守防衛」のままで抑止力は担保されるのか？ 日米同盟の役割分担という名の下になおざりにしてきた「敵基地反撃能力の保有」について、これからも「矛の役割」を

米国に依存し続けるのか？ これらの命題に対し、徹底したリアリズムに立脚して白紙ベースで議論し、我が国の安全保障戦略を再構築すべき時です。国際社会において日本が強いリーダーシップを発揮し、また防衛省・自衛隊が万全の態勢で任務に邁進できるよう、数少ない自衛隊出身の国会議員として、外交・安全保障政策の更なる推進に全身全霊で取り組んで参る所存です。引き続きのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。末筆ながら、今年一年の日本国の安寧と、会員の皆様のご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。